

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	近例	適正 使用 措置	感染症(PT)	出典	概要	
57	2007/04/17	70057	ジェンザイ ム・ジャパ ン	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブリン	胸腺細胞	ヒト胸腺	ベルギー、フ スベイン、フ ランス、イタ リア、リトア ニア、ポーラ ンド、ノル ウェー、デン マーク、ス ウェーデン、 フィンラン ド、スロバキ ア、チェコ共 和国	製造工程	無	無	無	無			
58	2007/04/17	70058	ジェンザイ ム・ジャパ ン	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブリン	赤血球スト ローマ	ヒト血液	アメリカ	製造工程	無	無	無				
59	2007/04/17	70059	ジェンザイ ム・ジャパ ン	抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブリン	胎盤組織	ヒト胎盤	フランス	製造工程	無	無	無				
60	2007/04/18	70060	日本臓器 製薬	ダルテパリンナトリウム	低分子ヘパ リン	ブタ腸粘膜	中国	有効成分	無	無	無				
61	2007/04/18	70061	日本臓器 製薬	抗ヒトリンパ球ウサギ免疫グロブリン	抗ヒトリン パ球ウサギ 免疫グロブ リン	培養ヒトリン パ芽球免疫 ウサギ血清	ドイツ、ハン ガリー	有効成分	無	無	無				
62	2007/04/18	70062	日本臓器 製薬	抗ヒトリンパ球ウサギ免疫グロブリン	培養ヒトリン パ芽球(JM 細胞株)	ヒト(急性リン パ性白血病 患者)末梢血	ドイツ	製造工程	有	無	無	クロストリジウ ム感染	YAHOO!ニュース (読売新聞) 2007 年2月22日	千葉県の船橋市立医療センターは22日、同県内の50歳 代の男性が、主に牛の病気の原因とされる「気腫菌」に 感染し、死亡したことを明らかにした。人への感染が報告 されたのは世界初である。気腫菌は傷口などから動物 の体内に入り、筋肉が壊死する「気腫」を発症させる。 死亡した男性は2006年2月、高熱と胸の打撲で搬送され、 搬送時心肺停止状態ですぐに死亡。体全体が腫れ上 がっていた。肺の組織から気腫菌が検出された。	
63	2007/04/18	70063	日本臓器 製薬	抗ヒトリンパ球ウサギ免疫グロブリン	ヒト胎盤ホモ ジネート	ヒト胎盤	ドイツ	製造工程	有	無	無	クロストリジウ ム感染	YAHOO!ニュース (読売新聞) 2007 年2月22日	70062に同じ	
64	2007/04/18	70064	日本臓器 製薬	抗ヒトリンパ球ウサギ免疫グロブリン	ヒト赤血球	ヒト血液	ドイツ	製造工程	有	無	無	クロストリジウ ム感染	YAHOO!ニュース (読売新聞) 2007 年2月22日	70062に同じ	